

精神医療審査会の現状と課題

H27年全国精神保健福祉センター長会調査より

1. 家族等同意の問題
2. 委員確保の問題

平成28年4月28日

白川教人

全国精神保健福祉センター長会会長
全国精神医療審査会連絡協議会副会長
(横浜市こころの健康相談センター長)

H27年全国精神保健福祉センター長会における 法改正後の退院・処遇改善請求の状況調査

調査総括；鳥取県立精神保健福祉センター

原田 豊

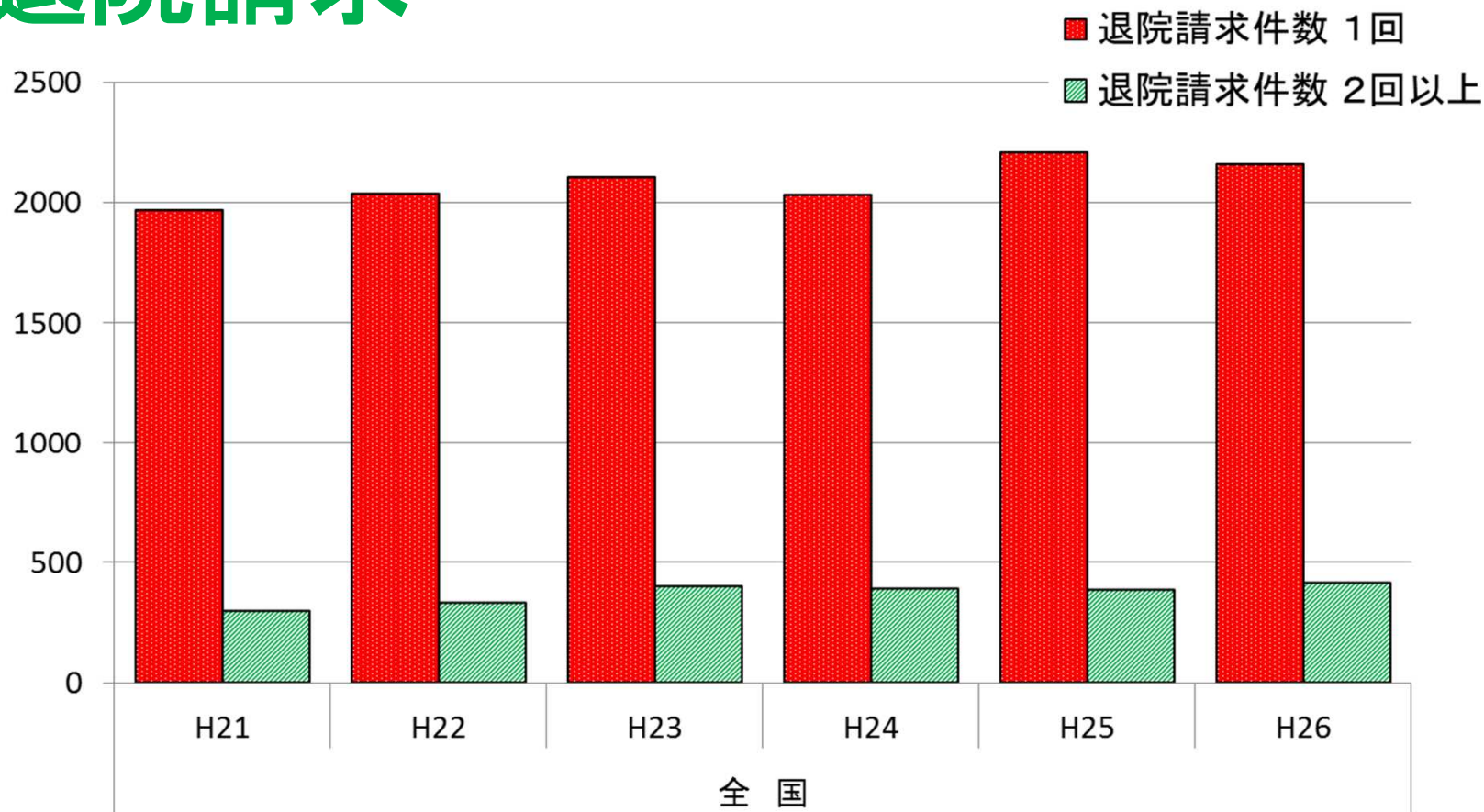
調査期間；H27年8月19日～31日

- ・法改正後、請求件数が増加すると予想されていたが、実態はどうか？
- ・家族等の同意に大きな問題は生じていないとされたが、実態はどうか？

退院請求・処遇改善請求調査

全国精神保健福祉センター長会
H27年8月調査

退院請求

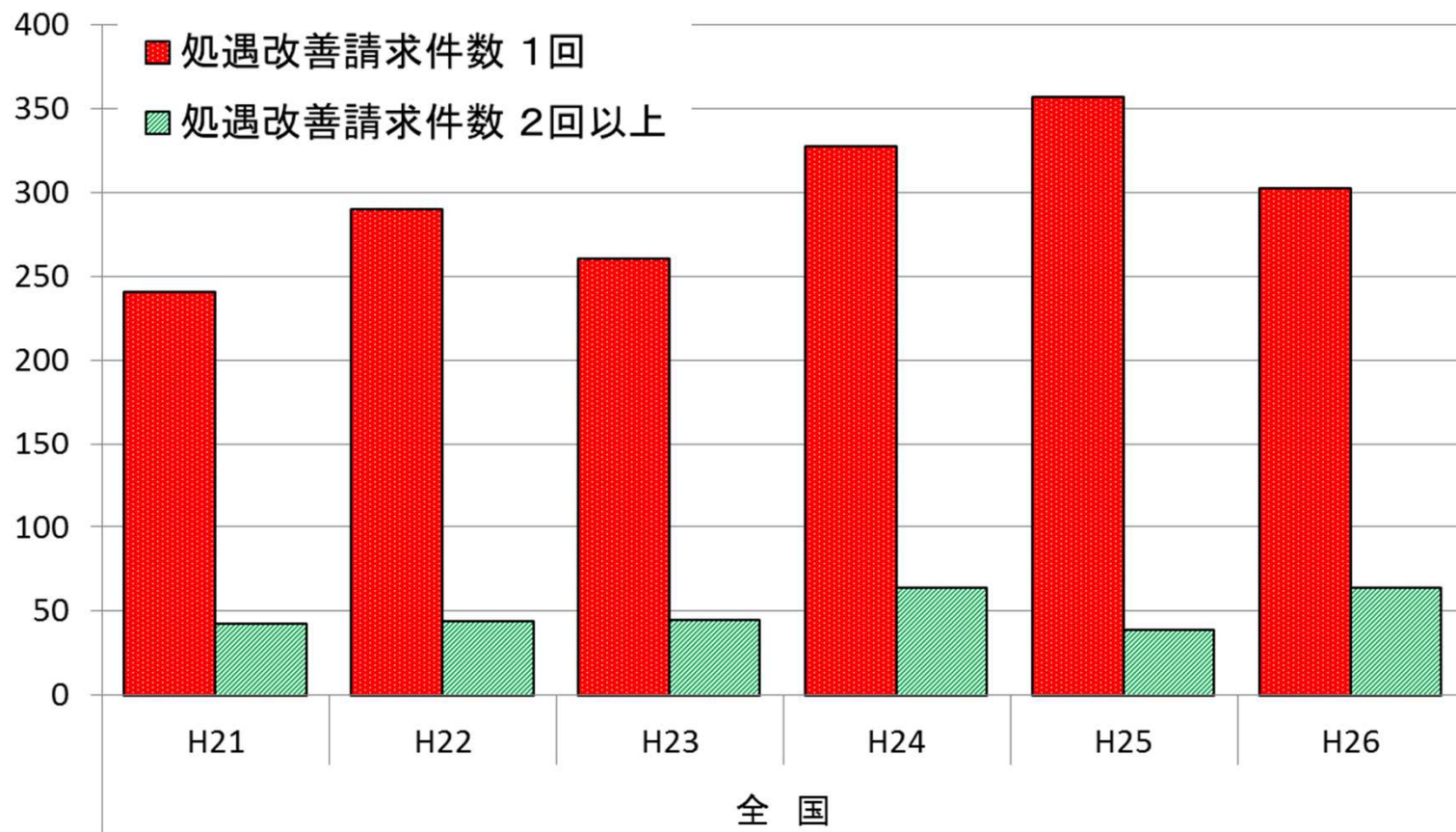


退院請求・処遇改善請求調査

全国精神保健福祉センター長会

H27年8月調査

処遇改善請求



退院・処遇改善請求の課題

法改正により、本人・代理人以外からの退院・処遇改善請求が増えるのではとの意見もありましたが、それ程、増えてはいないように思えます。

しかし、いくつかの課題もある。

退院請求・処遇改善請求調査

全国精神保健福祉センター長会

H27年8月調査

「医療保護入院成立に関する問題事例」

【 問題事例 】

総数	1	1	0	(件)
家族等の存在が不明		7		
家族等に連絡がつかない	2	2		
家族等が関わりを拒否	5	2		
家族等に該当するか	2	6		
その他	2	0		
合計	1	2	7	

* 複数分類

「医療保護入院成立に関する問題事例の1例」

父が認知症、弟が拒否の件

50歳代、女性。統合失調症。

父と同居。父は、認知症。

弟は、東北にいらしいが、

疎遠で、関わりを拒否。

父が、家族等に該当するか？

誰が、判定するか？

弟が同意を拒否するため、

医療保護入院に至らない。

いろいろな課題がありますが

法改正により、

- ①家族等のいずれかが同意すれば医療保護入院が可能であるとのことから、安易な入院が行われるのではとの懸念があったが、現時点では、退院・処遇改善請求の顕著な増加等は認められない。
- ②一方で、これまで市町村同意で入院に至っていた事例が、家族等の同意が得られないとの理由で入院が困難なものがあり、適切な入院医療が保障されないのではとの疑問もある。
- ③もっとも大きな課題として、入院が困難になったということ以上に、医療保護入院という極めて本人にとっては重要な判断に、10年以上も会っていない兄弟が大きな役割を持っていることそのものが、本人の人権を守る上で重大な懸念であると考え

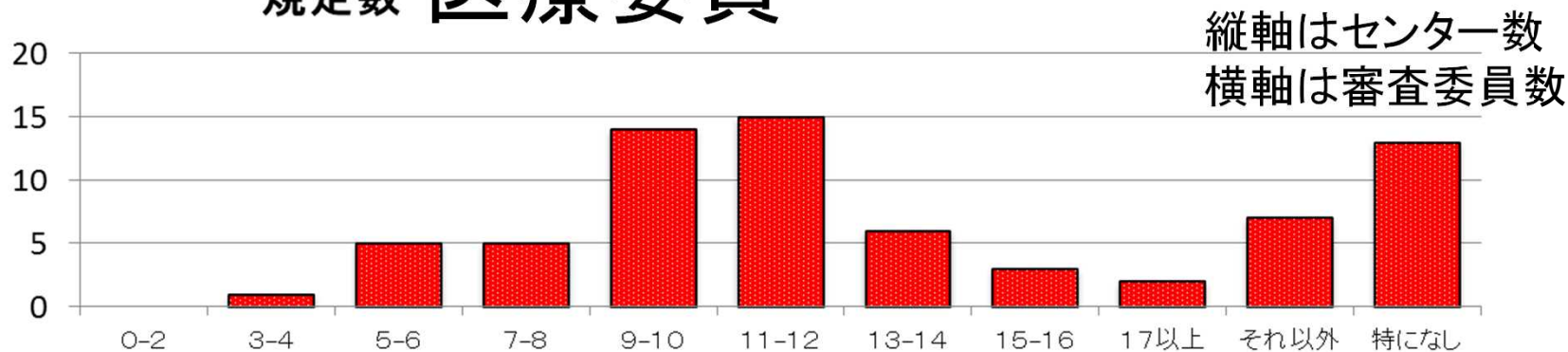
- ・審査会の調査結果から入院患者の人権擁護と適正な医療確保のために精神医療審査会の役割が大きいと考えられる。
- ・適正な人権擁護を確保すべく、審査会の要をなす委員の状況はどうか、委員の確保における課題はどのようなかを調べることにした。

精神医療審査会の委員確保に関する調査

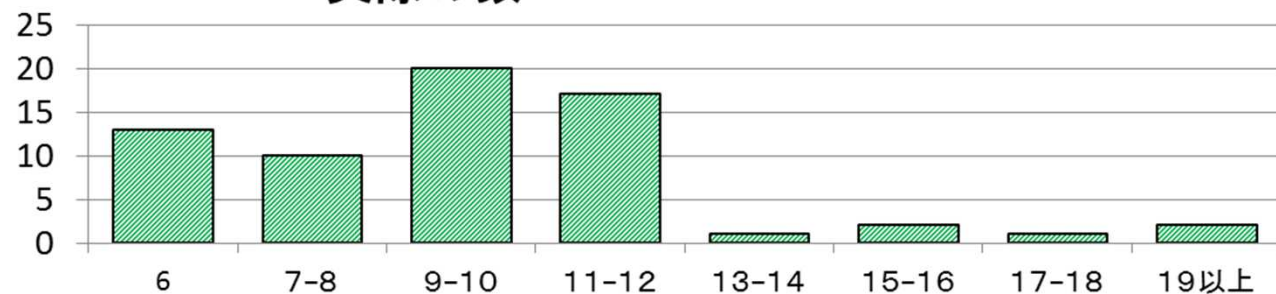
(岡山県精神保健福祉センター 野口正行所長作成)

- **目的**: 平成26年4月施行の精神保健福祉法改正により、精神医療審査会の強化が目指された。約2年を経た時点での審査会の委員確保の現状把握のために調査を実施した。
- **期間**: 平成28年3月4日～31日
- **対象**: 精神医療審査会の事務局である全国の精神保健福祉センター(東京3センターは全体で1つとして計上)
- **調査内容**: 審査件数、審査委員の確保状況、確保の工夫、困難度など
- **回収率**: 66／67 98.5%

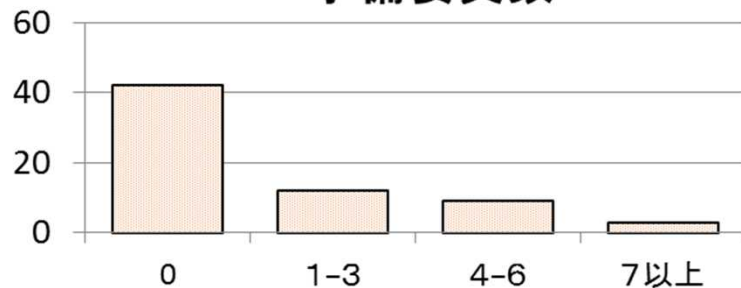
規定数 医療委員



実際の数



予備委員数

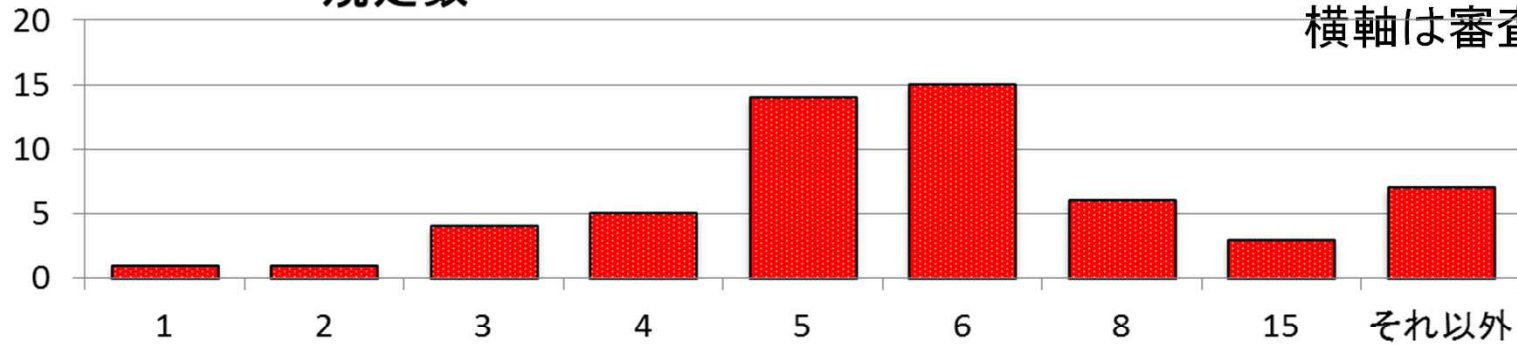


規定数に比べて実際の実数は少なめ。予備委員は不在のセンターが多い。

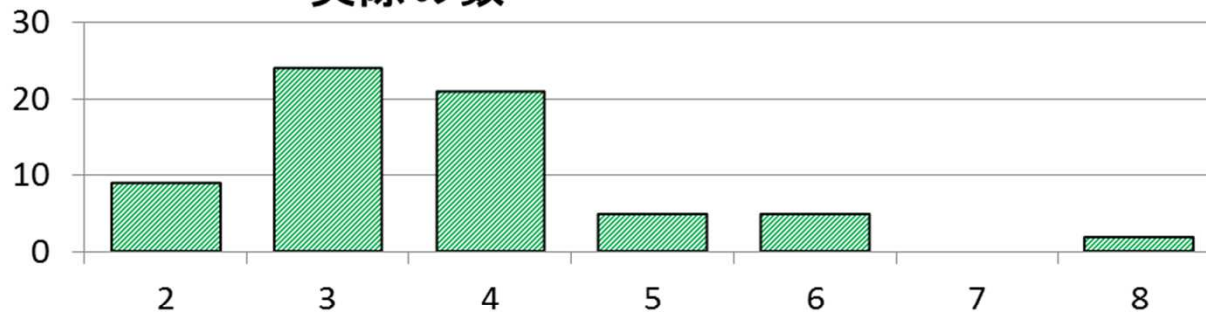
法律家委員

縦軸はセンター数
横軸は審査委員数

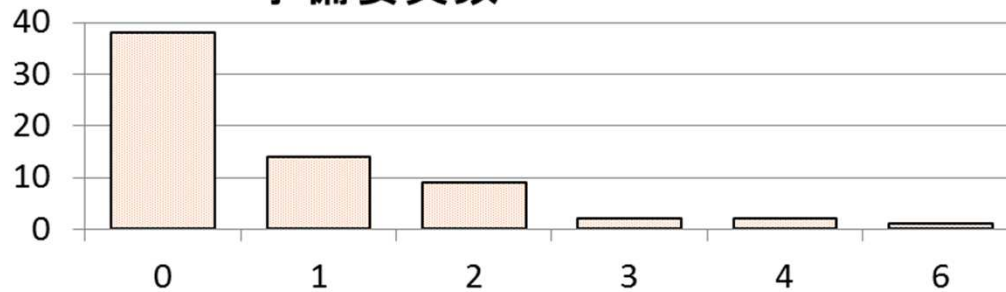
規定数



実際の数



予備委員数

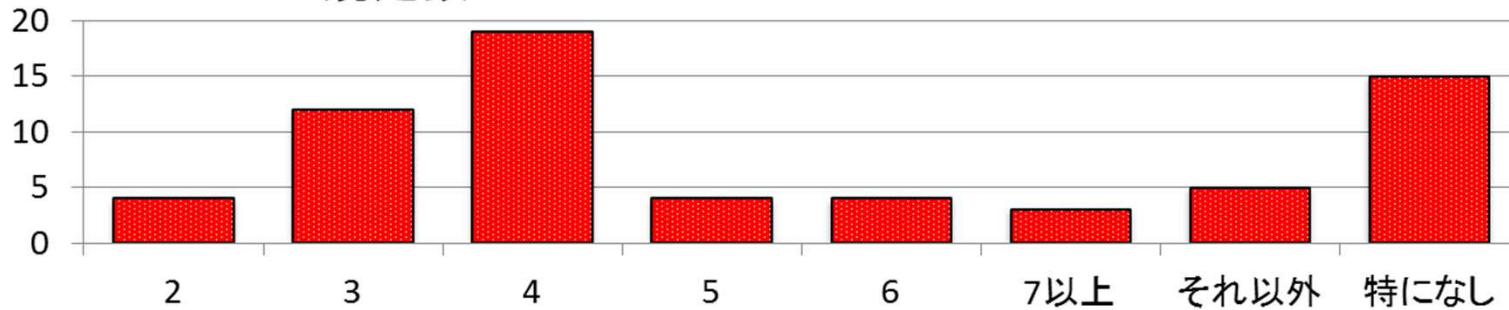


規定数に比べて実際の数
は少ない。予備委員は
不在のセンターが多い。

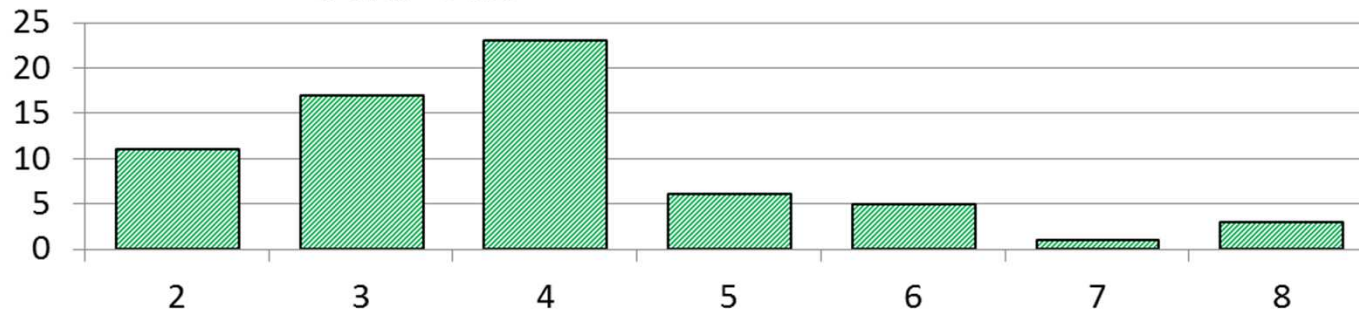
有識者委員

縦軸はセンター数
横軸は審査委員数

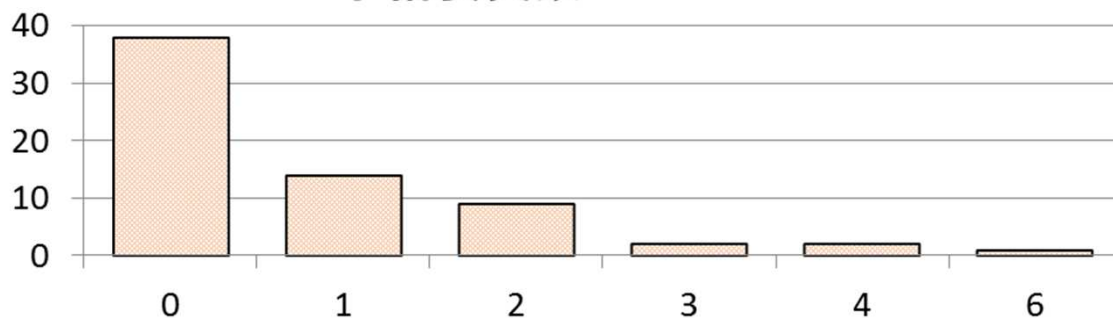
規定数



実際の数



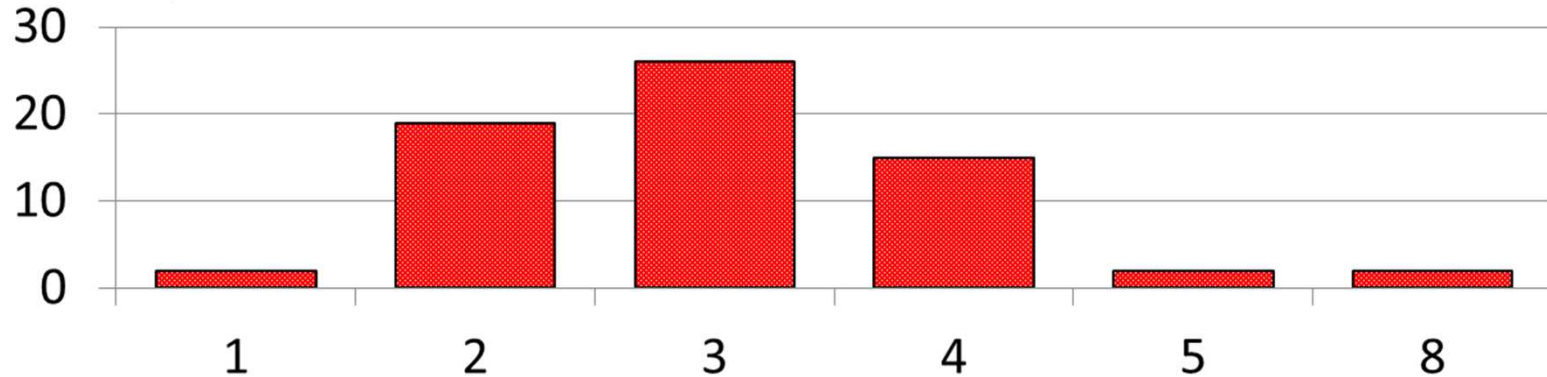
予備委員数



規定数と実際の数
は同様。予備委員
は不在のセンター
が多い。

合議体数

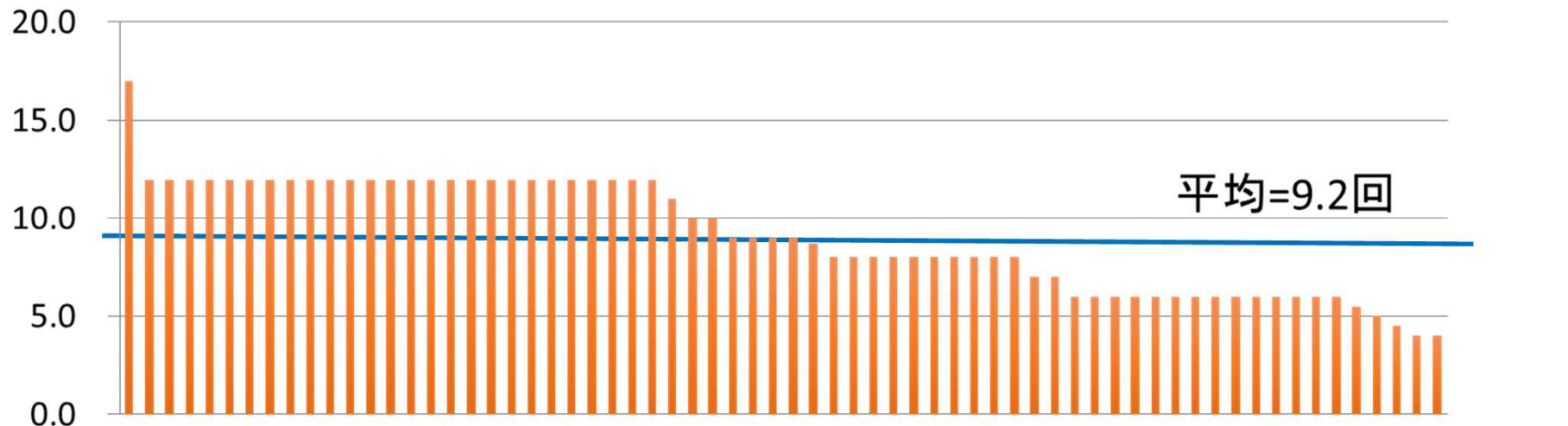
センター数



合議体数

合議体ごとの年間開催数

開催数



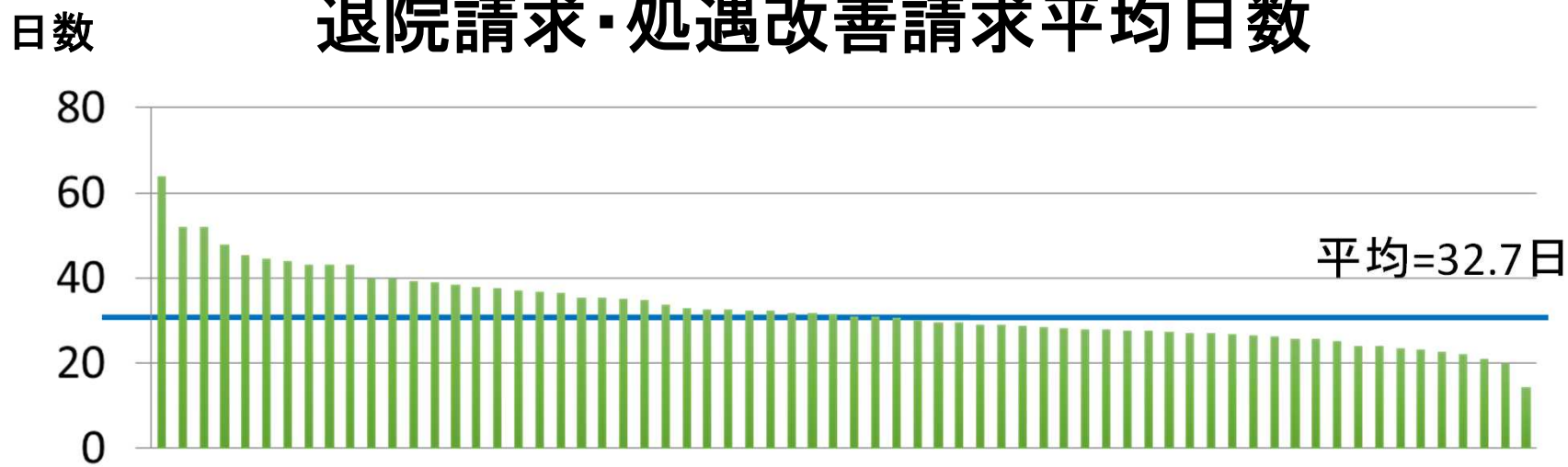
2016/4/9

全国センター長会審査会調査結果

審査件数合計

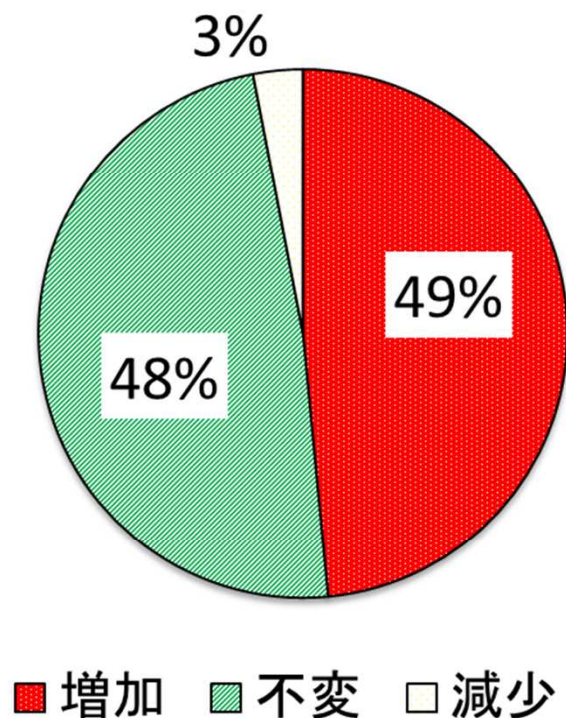


退院請求・処遇改善請求平均日数

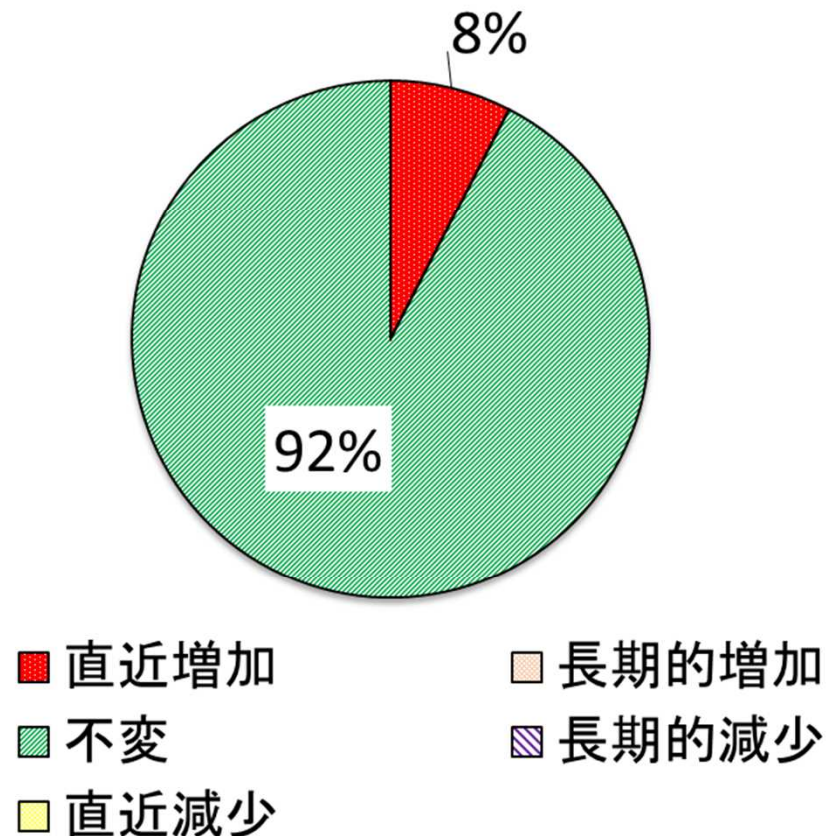


(横軸はセンターを降順に並び替え)

審査件数の今後の見込み



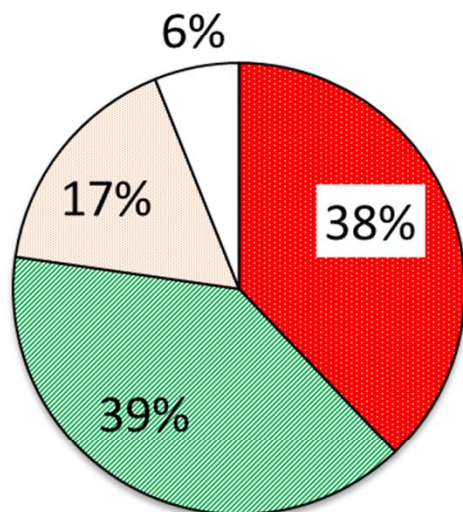
合議体の今後の予定



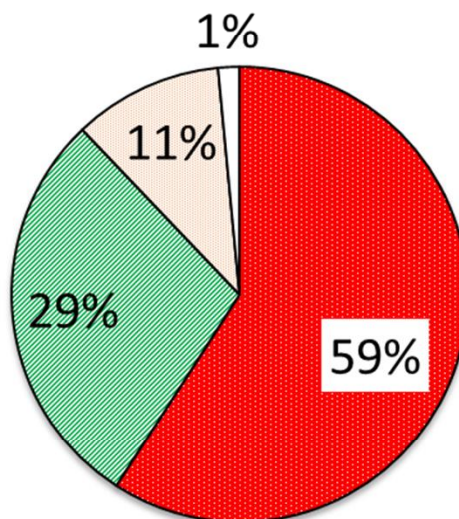
件数増加にもかかわらず、合議体数不変との回答が多い

委員依頼方法

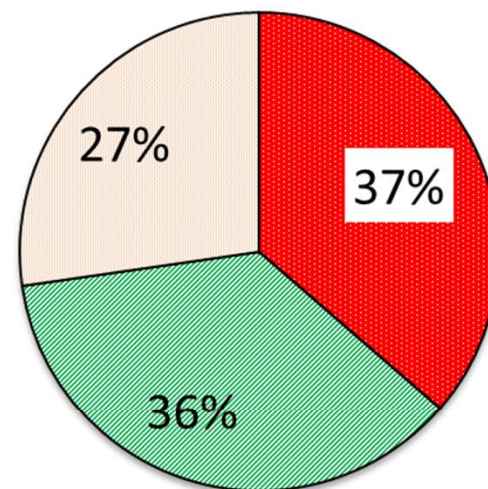
医療委員



法律家委員



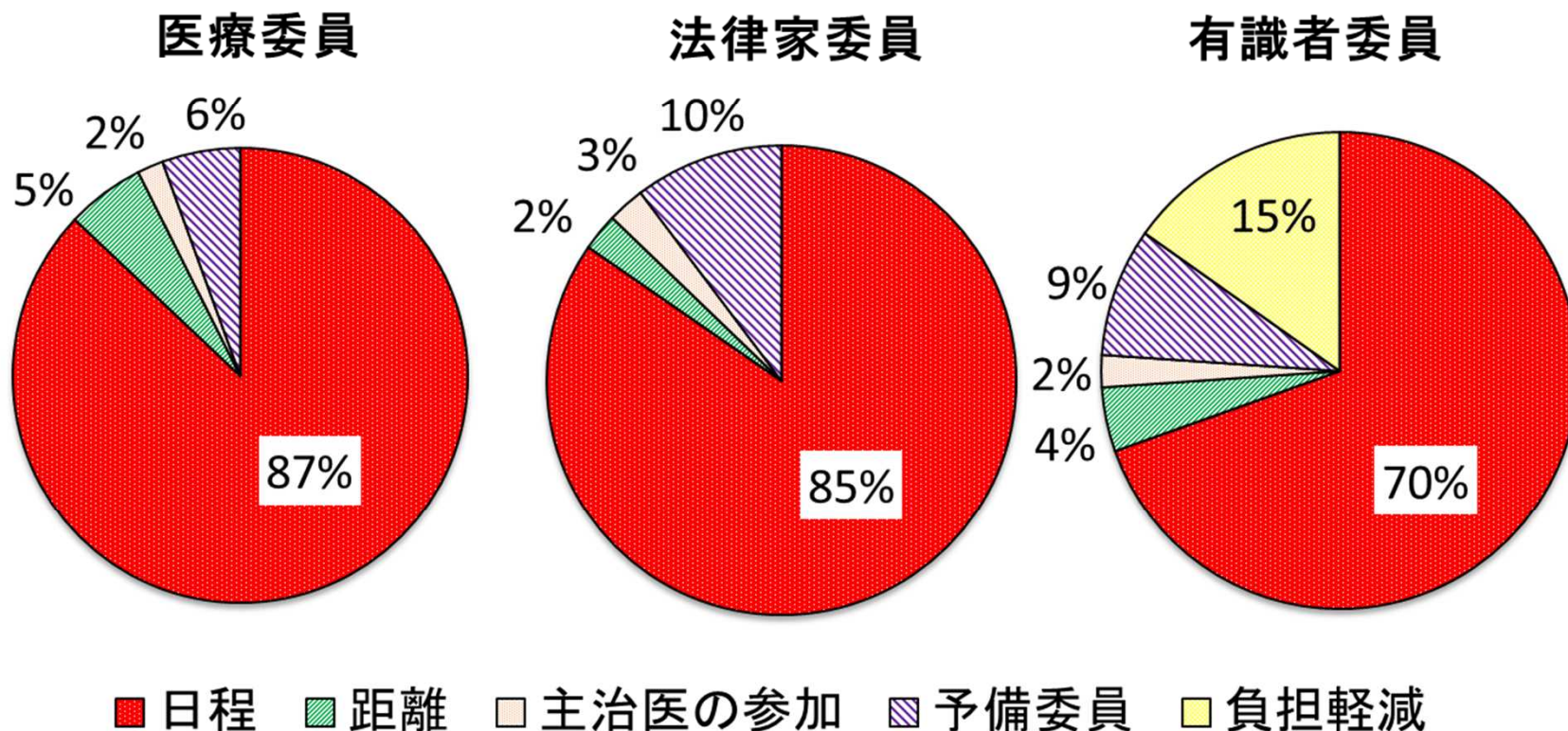
有識者委員



■ 団体選定のみ ■ 団体・個別 ■ 個別のみ ■ その他

医療委員と有識者委員では専門職団体・機関選定と
専門職団体・機関＋個別の依頼が多い

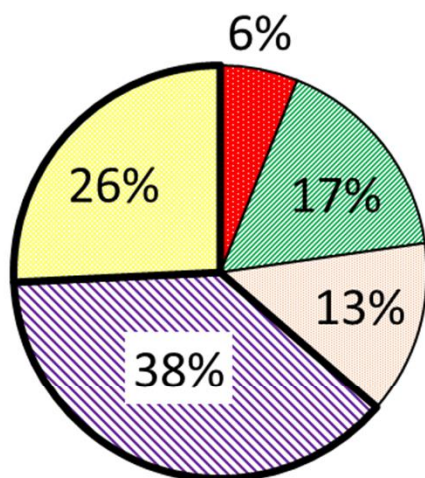
退院請求・処遇改善請求時の実地審査委員確保のための工夫



日程調整で審査委員の負担軽減を図っている

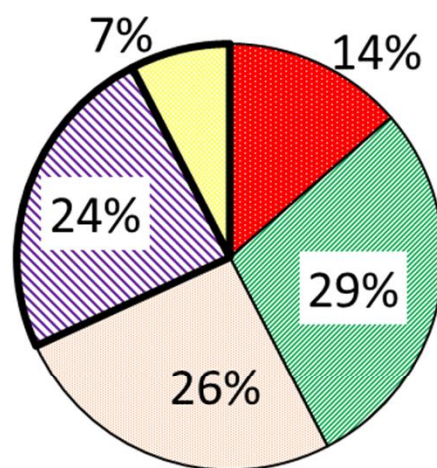
委員の確保状況

医療委員



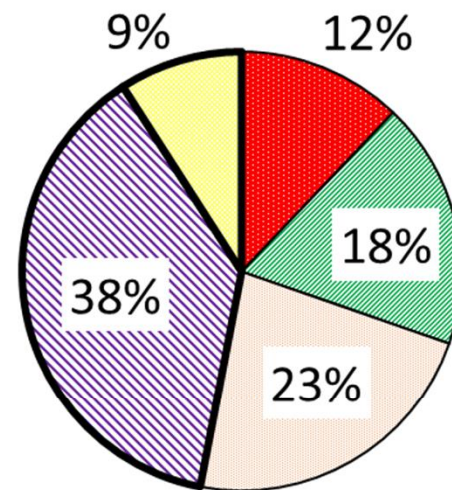
■ 困難でない
■ やや困難

法律家委員



■ 困難あまりない
■ 大変困難

有識者委員

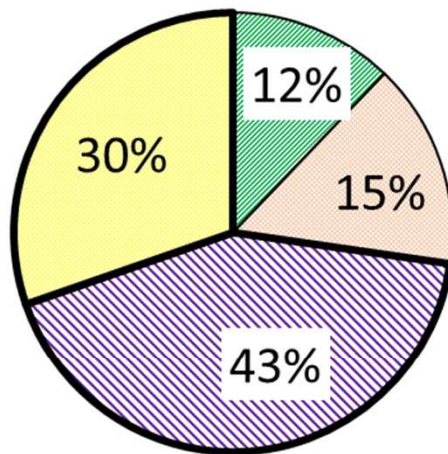


□ どちらでもない

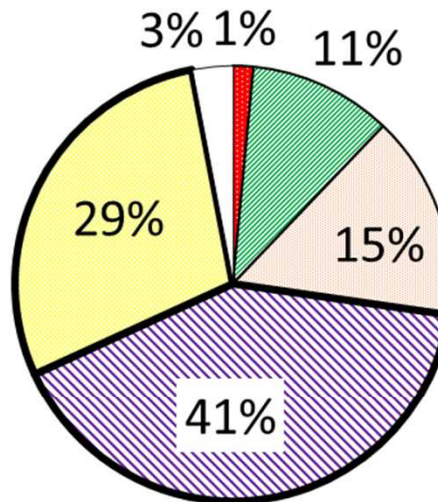
医療委員で確保の困難さが目立つ

退院請求・処遇改善請求時の 実地審査委員の確保状況

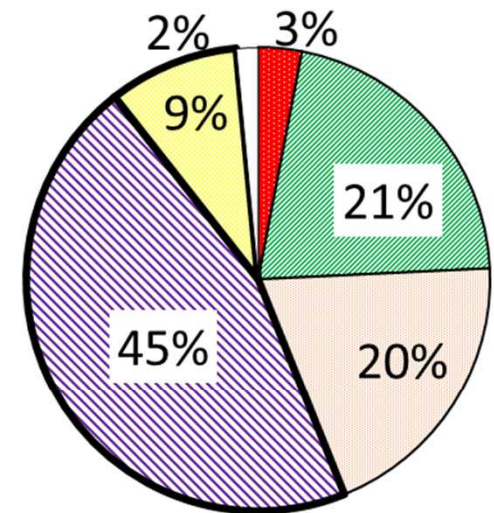
医療委員



法律家委員



有識者委員

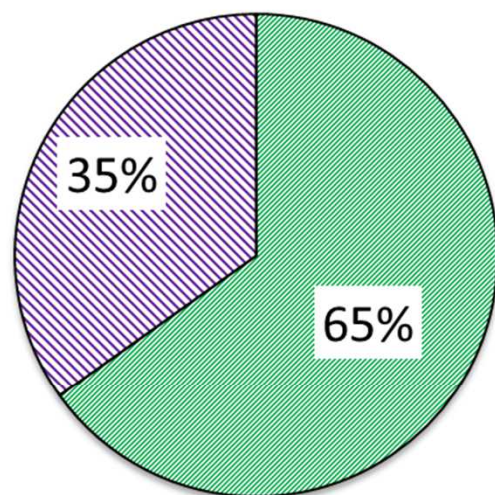


- 困難でない
- 困難あまりない
- どちらでもない
- やや困難
- 大変困難
- 欠損値

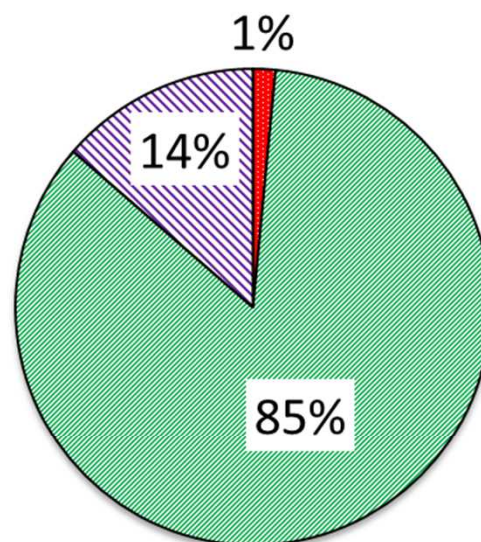
退院請求・処遇改善請求の委員の確保が困難な場合が多い

委員確保の今後の見通し

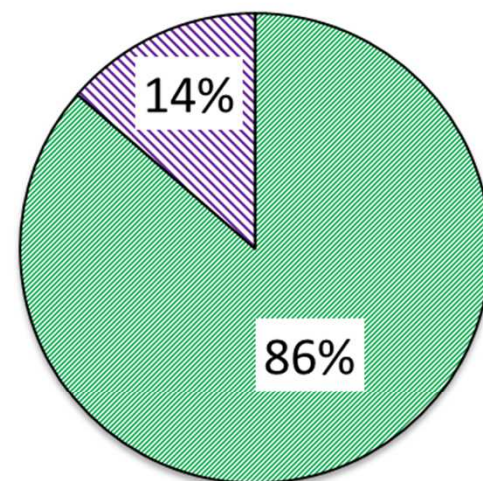
医療委員



法律家委員



有識者委員

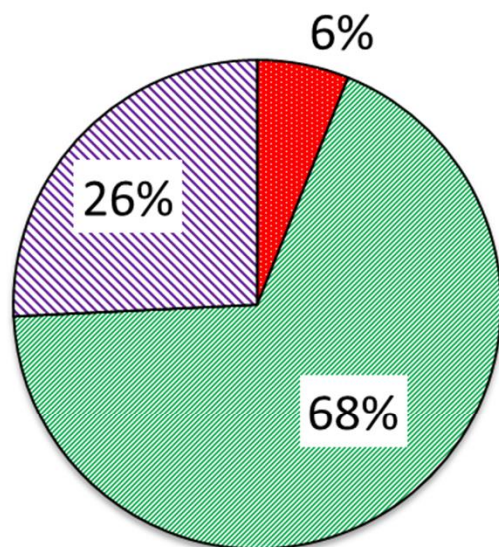


■ 改善 ■ 不変 ■ 悪化

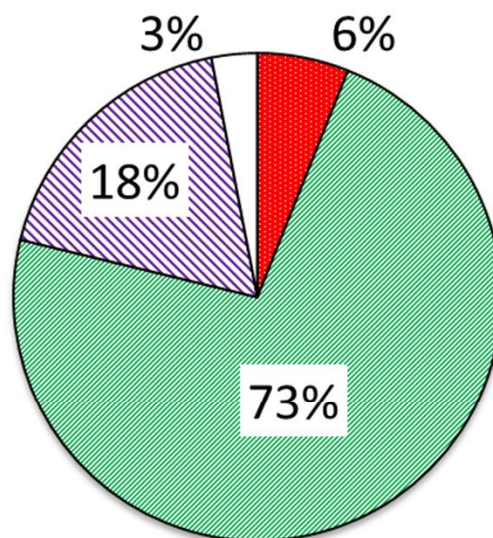
医療委員の悪化の見通しが多い

退院請求・処遇改善請求時の 実地審査委員確保の今後の見通し

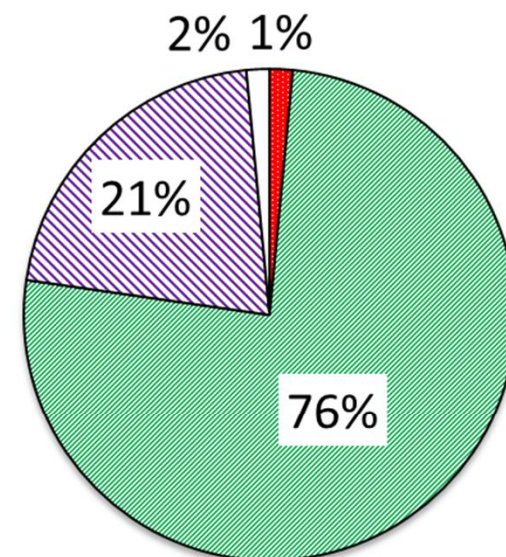
医療委員



法律家委員



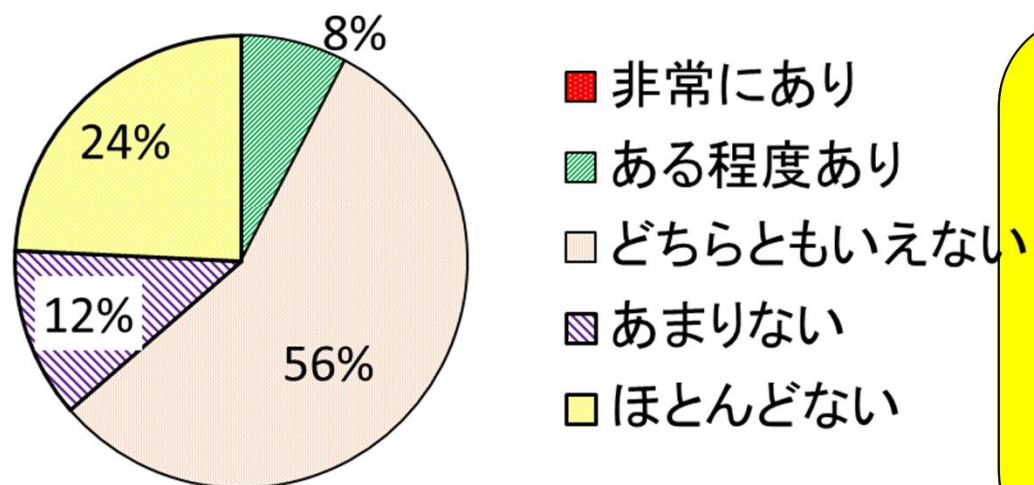
有識者委員



■ 改善 ■ 不変 ■ 悪化 □ 欠損値

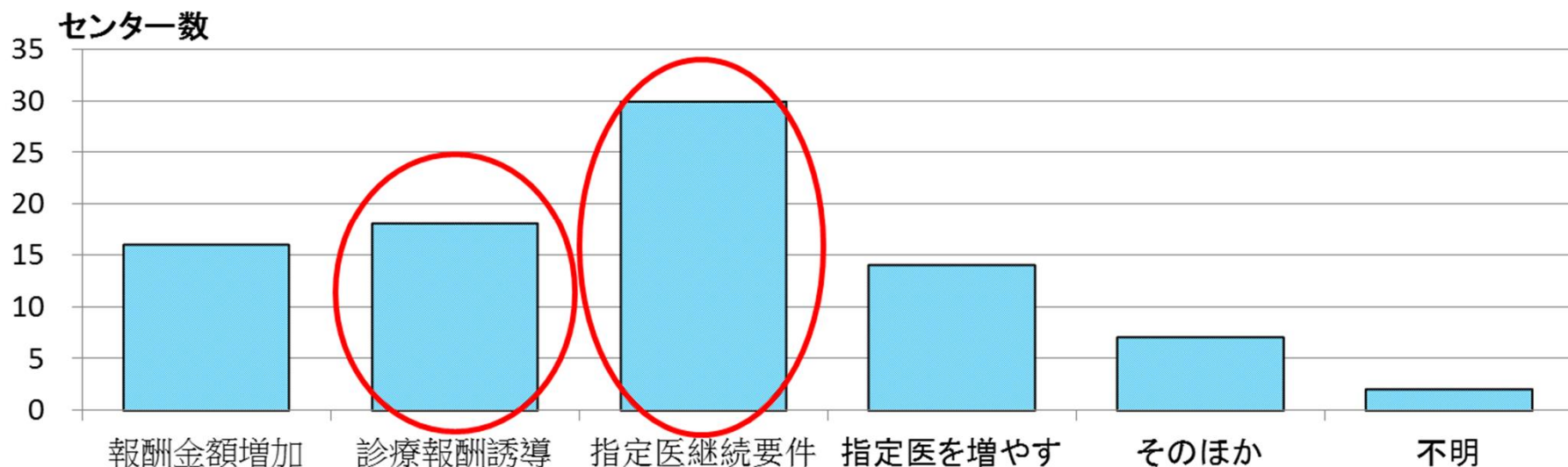
不変の見通しが7割近くを占める

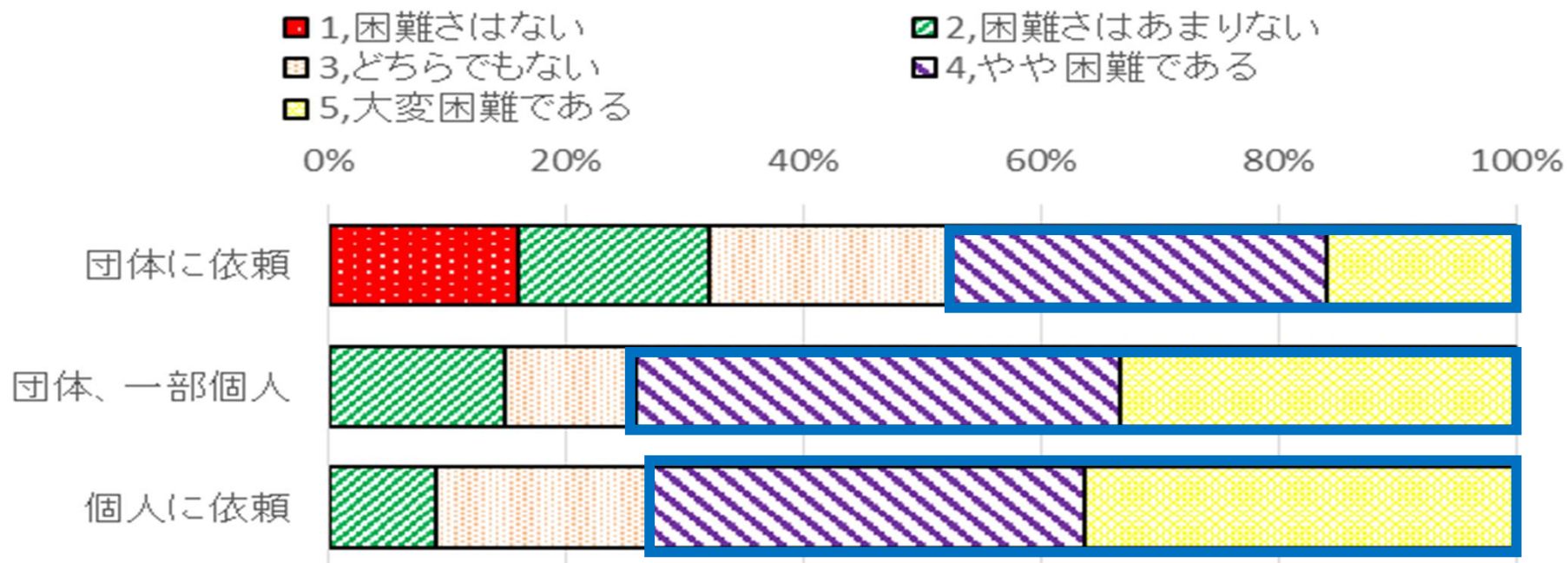
医療委員確保のための診療報酬要件の効果



- 前回の診療報酬改定の効果は限定的。
- 指定医継続の要件に審査会委員等の公的業務を加える案が最多。

医療委員の確保に必要な方策案

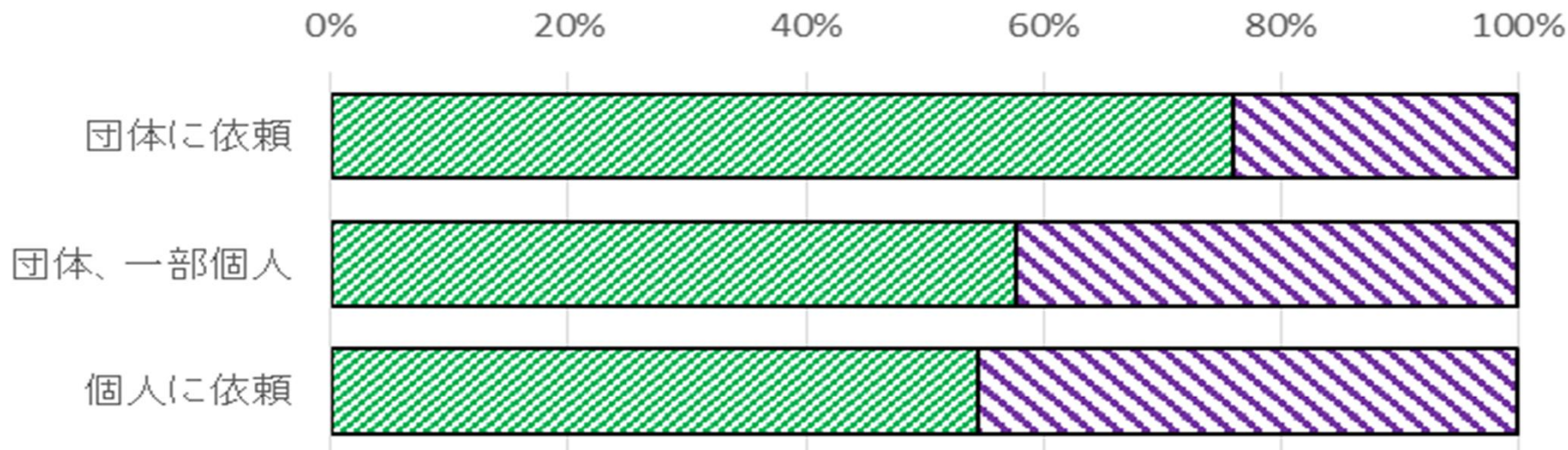




医療委員依頼方法別に見た医療委員の確保状況

専門職団体・大学等機関依頼の方が確保しやすい。
専門職団体・大学等機関に委員を出す義務・インセンティブが有効？

■ 1,改善が予想される ■ 2,状況は変わらない ■ 3,悪化が予想される

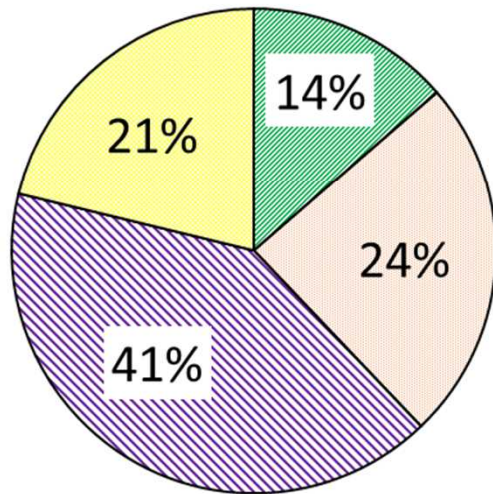


医療委員依頼方法別に見た医療委員の確保の見通し

専門職団体・大学等機関依頼の方が確保しやすい。
専門職団体・大学等機関に委員を出す義務・インセンティブが有効？

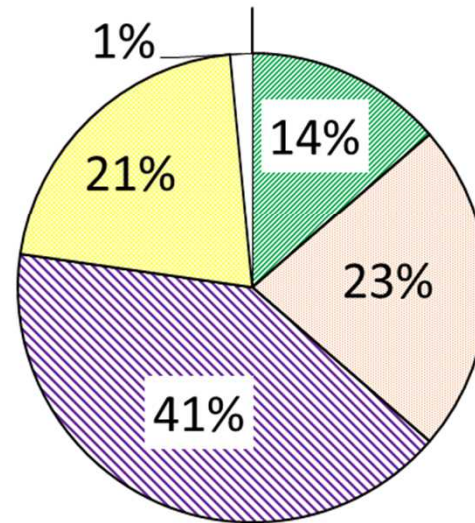
その他の精神保健福祉法に規定される 審査委員の確保状況

自立支援医療審査委員



■ 困難でない
▨ やや困難

精神障害者保健福祉手帳審査委員



■ 困難でない
▨ やや困難
▨ 困難あまりない
■ 大変困難
□ 欠損値
■ どちらでもない

その他の精神保健福祉法に規定される審査委員の確保も困難

まとめ

- 精神医療審査会は精神保健福祉法にて入院患者の人権擁護と医療の質の確保のために強化することが目指されている
- 医療委員を筆頭として、委員の確保に困難さを抱える傾向が全国的にみられる
- 個別に委員を依頼するセンターほど医療委員確保の困難さが高い傾向がある
- 精神医療審査会の強化方法は今後も慎重な検討が必要
- 指定医継続の要件として審査会等公的業務への従事を加える、委員を出す専門職団体・大学等機関にインセンティブを設けるなどの対応も要検討